

2. 福井県道での供用3年データ

1999年11月、福井県の3か所（いずれも県道）でポーラスコンクリート舗装の試験施工が行われました。セメント協会は福井県と協力して、供用直後から材齢5年までの性状を試験しています。以下は供用3年

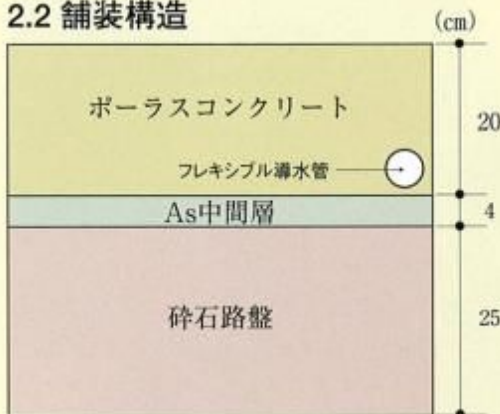
2.1 試験施工概要

施工時期	場所	規模	設計交通量
1999年11月	大野市牛ヶ原 (皿谷大野線)	50m×4.5m ×2車線	100~250未満 (台/日・方向)
	今立町領家 (領家河和田線)	40m×4.0m× 2車線×2工区	
	今庄町南今庄 (今庄杉津線)	50m×4.0m ×2車線	

までの状況データです。また、ここでの課題は「降雪環境」でしたが、これまでのところ特に問題はないようです。



2.2 舗装構造



2.3 コンクリートの配合例

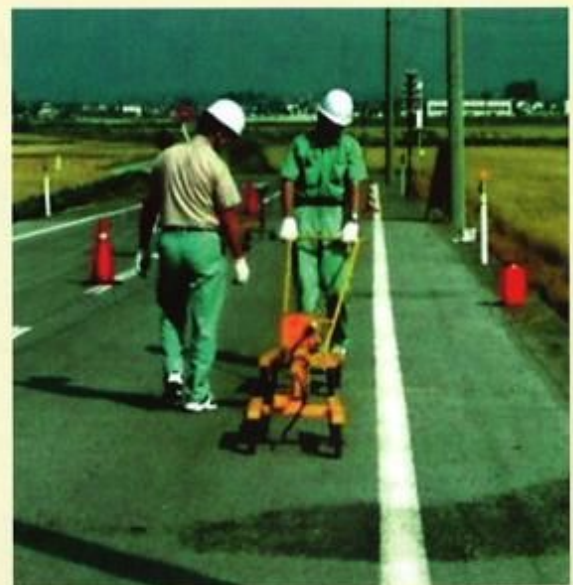
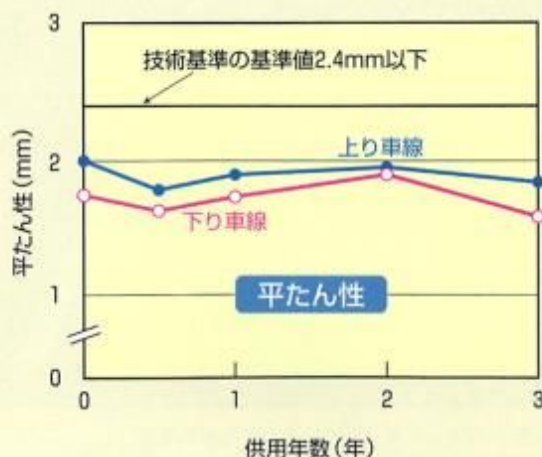
粗骨材 最大寸法 (mm)	水結合材比 (W/B) (%)	単位量 (kg/m ³)			
		水 W	結合材 B	細骨材 S	粗骨材 G
13	22.5	78	346	173	1516

2.4 供用性状

供用3年までの機能維持を含めた供用状況は良好です。

2.4.1 平坦性

舗装の構造に関する技術基準値2.4mm以下を満足し、供用3年までほぼ同等の平坦性が維持されています。



3mプロフィールメータによる平坦性の測定